

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実績及び効果

(単位：円)

事業名	事業概要	事業実績・効果	総事業費	交付金充当額	担当課
休業要請協力金	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休業要請への協力を行った小企業・個人事業主に対し、1事業者あたり50万円の協力金を交付した。	給付件数 142件（給付総額 71,000千円） コロナ禍における飲食店等の継続支援を行うことができた。	71,531,883	35,367,404	産業振興課
子育て世帯への臨時特別給付金（町単独）	学校の休校等で負担が増えている子育て世代等に家庭学習や社会生活に必要な経費を支援するため、児童手当を受給する世帯に対し、その対象児童一人当たり1万円を上乗せする臨時特別の給付金を支給した。	給付件数 3,867件（給付総額 67,580千円） 学校の休校等で負担が増えている子育て世代について、給付金を支給することにより生活の支援を行うことができた。	67,580,000	67,580,000	こども課
遺児家庭臨時給付金	学校休校等において負担が増大しているひとり親家庭に対し児童の健全な育成に必要な経費を支援するため、幸田町遺児家庭扶助費の受給者に対し、対象児童一人当たり2万円の臨時給付金を給付した。	給付件数 223件（給付総額 6,560千円） 新型コロナウイルスの影響を受けやすいひとり親家庭について、給付金を支給することにより生活の支援を行うことができた。	6,560,000	6,560,000	こども課
図書カード配布による家庭学習支援	学校休校におけるの家庭学習を支援するため、中学生に対し、1人あたり1万円の図書券の配布を行った。	配布枚数 1,374枚 生徒の家庭学習に必要な書籍や教材等の購入支援を行うことができた。	14,564,803	13,948,290	学校教育課
福祉事業所支援交付金	町内に住所を有し、介護・障害福祉サービスを休止できない事業者へ支援金とその従事者に慰労金を交付した。	事業所数 54か所、交付人数735人 新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図れた。	36,900,000	36,900,000	福祉課
幸田町産米消費支援事業	就学援助の対象児童・生徒と、幸田町出身で愛知県外に住む学生に対し、幸田町産の米を届けた。	支援人数 276人 新型コロナウイルスの影響を受けやすい就学援助の対象児童・生徒と県外に住む学生に対して支援を行うとともに、地元産米の消費拡大を図るための宣伝を行なうことができた。	1,815,716	1,815,716	産業振興課
GIGAスクールPC購入費	ICTを活用した学習環境整備のため小学1～4年生、中学2・3年生を対象としてタブレット端末を整備した。	整備学校数 9校、整備端末数 2910台 コロナ禍において、グループ学習などが対応できた。	124,755,590	124,755,590	学校教育課
宅配ボックス設置費補助金	町民及び宅配事業の従事者の新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させることなどを目的に宅配ボックス設置に係る費用の一部を補助した。	補助件数 38件（補助総額1,090千円） 宅配時の人と人との接触機会減少により新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。	1,090,000	1,090,000	企業立地課
合 計			324,797,992	288,017,000	